平成２６年度　　事務事業評価シート

章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	Ⅰ	国内における交流の場と機会の拡大
目標		広域交流を推進し、地域の活性化に努めるとともに、新しいまちづくりを推進する。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標①	げんきかい等における参加者数	人	198	210	215	193	160	158	－	250

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　国内の様々な地域との交流の推進	①　広域行政の推進	・効率的な行政運営を図るため、西胆振の市町村や白老町との連携を進め、広域行政を進めます。 （1）外国人観光客や修学旅行客の誘致を促進するため、観光事業の連携を強化します。 （2）首都圏などにおける団塊の世代をターゲットとした移住促進策の連携を図ります。 （3）地方税制の改正などに対応するため、共同電算業務の連携を図ります。 ・近隣都市との事務の連携を図るため、室蘭市・伊達市や白老町との行政懇談会を開催し、連携を進めます。 ・地方自治体における共通の課題に対応するため、新都市連絡協議会や道南五市市長会において、協議を進めます。 ・定住自立圏形成協定を締結した室蘭市と相互に役割を分担し、連携を図りながら、圏域全体の広域行政の推進に努めます。
1-②	1　国内の様々な地域との交流の推進	②　姉妹都市交流等の推進	・宮城県白石市との姉妹都市提携に基づき、物産展などの経済交流、児童・生徒のスポーツ交流や民間による文化交流などにより相互理解を深め、交流を推進します。 ・白石市及び白石市の姉妹都市である神奈川県海老名市とのトライアングル交流について、今後も様々な分野において、一層交流を深めるため、三市間の援助・協力関係を強化します。
1-③	1　国内の様々な地域との交流の推進	③　札幌圏・首都圏における交流拠点の整備	・東京登別げんきかいや札幌のほりべつ会を通じて、首都圏や札幌圏の人々との情報交換を進め、情報の共有化を図り、関係を強化します。 ・登別市ふるさと大使へPRカード（名刺）や広報紙などを提供し、ふるさと大使と連携しながら、地域ブランドやふるさとの情報を発信します。
1-④	1　国内の様々な地域との交流の推進	④　情報発信	・ホームページなどを活用し、東京登別げんきかいや札幌のほりべつ会の活動状況やその成果などの情報提供に努めます。

Plan ・ Do

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標：指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
1	1-②	登別・白石・海老名友好交流事業 62112006	総務部	総務G	H23	－	ソフト	一般会計	登別市、白石市、海老名市の３市間で結ばれた「トライアングル交流宣言」をきっかけとし、物産展への参加や市民訪問団の受け入れなどを行うことにより、市民レベルでの友好交流を促進することを目的とする。	H24	登別市、白石市、海老名市民	姉妹都市等都市間交流協会と連携しながら、交流事業を行った。 【主な交流事業の内容】 ・白石市・海老名市民登別訪問ツアーの受け入れ ・幌別地区手づくり祭りに伴う伴う物産展受け入れ ・白石市農業祭り、えびな市民まつりに伴う物産展への出店	トライアングル交流宣言	３市交流人口	人	399	650	300	300	300	300
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－

NO	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】：名称	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
1	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	2,881	3,735	4,712	4,712	4,712	4,712
	合　計	2,881	3,735	4,712	4,712	4,712	4,712

Check

NO	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H24以前	平成25年度は白石市と姉妹都市提携30周年の節目となることから、両市間の更なる交流を促進するための事業の検討を行った。	維持	３市が「家族、姉妹、兄弟、友達」のような関係を築き、様々な分野において交流を深め、相互支援関係を強化するため、市が事業主体となって交流を行う必要がある。
	H25	登別・白石姉妹都市提携30周年記念事業（62112009）を行った。		
	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。		

Action

NO	今後の事業の方向性【H27以降】
1	現在は市民ツアーの受け入れや物産展への出店及び受け入れなどを通じ、３市の間に友好交流の気風が現れ、市民主導の事業を目指していく。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
2	1-②	登別・白石姉妹都市提携３０周年記念事業 62112009	総務部	総務G	H25	H25	ソフト	一般会計	登別市と宮城県白石市は平成25年度で姉妹都市提携30周年を迎えることから、両市市民の参加・参画を主体とした記念式典等を行うことにより、姉妹都市の意義など市民の理解を深めるとともに、より一層の交流を深めることを目的とする。	H24	－	－	－	式典参加人口	人		290				
										H25	登別市、白石市、海老名市	30周年記念式典を登別市、白石市の両市で執り行い、式典時には両市及び海老名市民の訪問と受入を相互に行った。 また、登別市で執り行った記念式典の翌日には、三市が参加した記念植樹を実施した。									
										H26	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

NO	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】：名称	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
2	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,222				
	合　計	0	1,222	0	0	0	0

NO	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
2	H24以前	平成25年度は白石市と姉妹都市提携30周年の節目となることから、両市間の更なる交流を促進するための事業の検討を行った。	維持（統合）	事業の実施により、登別市、白石市、海老名市の交流を促進するため、今後も事業を継続することが求められる。
	H25	平成26年度から「登別・白石・海老名友好交流事業」（62112006）で事業を実施する。		
	H26	－		

Action

NO	今後の事業の方向性【H27以降】
2	登別・白石姉妹都市提携30周年記念事業は、平成25年度で終了したが、事業の必要性に変わりはないため、平成26年度より「登別・白石・海老名友好交流事業」（62112006）に統合し、継続して取り組んでいく。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
3	1-③	東京登別げんきかい交流事業 62113001	総務部	企画調整G	H元	－	ソフト	一般会計	首都圏等在住の登別出身者等で構成される「東京登別げんきかい」と市との相互の情報交換や交流を図るとともに、会の協力による首都圏での情報発信等を通じ、市政の発展に寄与することを目的とする。	H24	同会会員	総会や交流の場において、市の情報を発信し、市政や首都圏でのＰＲに協力いただくとともに、相互の情報交換や親睦、交流を図った。 【主な活動内容・実績】 ・総会・情報交換会・懇親会の開催 平成24年11月10日（土）	（参考）東京登別げんきかい会則	総会・情報交換会参加者（延べ人数）	人	66	76	80	80	80	80
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【主な活動内容・実績】 ・総会・情報交換会・懇親会の開催 平成25年11月9日（土）	上記のとおり								
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定 【主な活動内容（予定）】 ・総会・情報交換会・懇親会の開催 平成26年11月8日（土）	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－

NO	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】：名称	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
3	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	556	525	585	585	585	585
	合　計	556	525	585	585	585	585

NO	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
3	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	会は首都圏での市のＰＲ活動など登別の発展のための活動を行っている。その活動は市にとって大きな財産であり、同会との交流継続が妥当である。
	H25	上記のとおり		
	H26	上記のとおり		

Action

NO	今後の事業の方向性【H27以降】
3	将来は、団体の自主的運営の促進など、市との関わりを含め会と市との関係を検討していく。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H27以降】
4	1-③	登別市ふるさと大使事業 62113002	総務部	企画調整G	H4	－	ソフト	一般会計	ふるさと大使を通じ、様々な機会に登別市を宣伝することにより、市政の発展に寄与する。	H24	ふるさと大使	登別市にゆかりのある方などに『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）を委嘱し、鬼大使に委嘱状（盾）を交付するとともに、観光パンフレットやＰＲカードを配布した。 ・平成24年度委嘱者数　６名	登別市ふるさと大使設置要綱	登別市ふるさと大使委嘱者数（累計）	人	63	63	64	65	66	67	国庫支出金							H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	ふるさと大使の活動の中で市の話題を宣伝してもらうことは、市の情報を広く発信する方法の一つとして有効である。	ふるさと大使に対する情報提供を継続するとともに、ＰＲカードの活用を促していく。
																						道支出金											
										H25	上記のとおり	登別市にゆかりのある方などに『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）を委嘱するための委嘱状（盾）を制作した。 ・平成25年度委嘱者数　無し	上記のとおり									地方債							H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H26	上記のとおり	登別市にゆかりのある方などに『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）を委嘱し、鬼大使に委嘱状（盾）を交付するとともに、観光パンフレットやＰＲカードを配布する。 ・平成26年度委嘱者数　未定	上記のとおり									一般財源		8	76	17	17	17	17	H26	上記のとおり			
																						合　計		8	76	17	17	17	17				
5	1-③	札幌のぼりべつ会交流事業 62113003	総務部	企画調整G	H8	－	ソフト	一般会計	札幌圏に居住する登別市に縁のある個人や法人で組織する『札幌のぼりべつ会』と市との相互の情報交換や交流を図るとともに、会の協力による札幌圏の企業と市内企業との経済交流を行うことを目的とする。	H24	同会会員	総会や交流の場において、市の情報を発信し、札幌圏でのＰＲに協力いただくとともに、札幌圏の企業・市内企業・市の情報交換や親睦、交流を図った。 【主な活動内容・実績】 ・総会・懇親会の開催 平成24年11月16日（金）	（参考）札幌のぼりべつ会会則	総会等参加者数	人	25	23	40	40	40	40	国庫支出金							H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	会は登別の応援団として、経済交流などの活動を行っている。その活動は市にとっても有益であり、同会との交流継続が妥当である。	会員の高齢化により、現役の企業経営者等が減少傾向にあることから、今後の会のあり方や市との関係を検討しながら、事業の継続を図っていく。
																						道支出金											
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【主な活動内容・実績】 ・総会・懇親会の開催 平成25年5月30日（木）	上記のとおり									地方債							H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【主な活動内容・実績】 ・総会・懇親会の開催 平成26年5月30日（金）	上記のとおり									一般財源		0	0	0	0	0	0	H26	上記のとおり			
																						合　計		0	0	0	0	0	0				

		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
全会計　合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3,445	5,558	5,314	5,314	5,314	5,314
	合計	3,445	5,558	5,314	5,314	5,314	5,314
一般会計　合計	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3,445	5,558	5,314	5,314	5,314	5,314
	合計	3,445	5,558	5,314	5,314	5,314	5,314
	区分【再掲】	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案